

自分はベルトでお仕置きされるのか、外出禁止になるのか、どのような罰をうけるのか？ それとも、彼はもう父親から見放されて永遠にひとりぼっちされるのか？ やがて彼の父親が部屋に入って来て、静かにドアをしめて、ベッドに座っている彼の隣に座った。沈黙だけがあり、それは永遠に続くかのように思われた。それから、父親は静かに息子の肩を抱き、優しい声でこう言った、「息子よ、君は長いズボンを履いていたことに気づいてましたか？ 君のズボンの裾に火がついて、もしかした酷い火傷をしたかもしれない。君を愛しているから君にも、家族にもそのようなめに会わないでほしいし、解ったかい？ 今話したことを良く考えてほしい、そして用意ができたなら食事に出てきなさい。」そういうと、父親は部屋に入って来た時と同じように静かに出て行った。何の罰も与えなかった。他に何も言う必要もなかった。ただ慈しみにあふれ短い会話が息子の注意を引いた、なんとも素晴らしいことか！

同じような慈しみが、今朝の聖書の箇所、イエスの戒めにある。主は優しく語られている、だから私たちはどれほど天の父が私たちの人生に最善を望まれているか、確信することができる。だから主の語る言葉を良く考えてください。そしてあなた方の用意ができたなら、来て、主と、そして共同体として主から呼び集められた人々と共に聖なる食卓に集まってください。

お知らせ 本日礼拝後、パーカーホールにてIce Cream Social が行われます。2月19日一週は10時からの日英両方語合同礼拝です。礼拝後、Japan Festivalが開催されます。チケットは販売中ですので、ぜひお求めください。また、当日のお手伝いを担当される皆さんは9時まで教会においでください。カレーはBercaw Hallの台所に持ってきてください。Kumamoto Youth Missionにご協力下さり、心から感謝いたします。
今週の教会活動
月曜日－和太鼓12:30PM、火曜日－英会話教室12:30PM、
水曜日－CCN麻雀2:30PM、木曜日－Paper Rollers 9AM,CCN健康講座11:30AM

9812 Hamilton Avenue
Huntington Beach, CA 92646-8014
教会オフィス: (714) 962-5005
日本語部直通電話: (714) 964-1912
<jministrylcr@gmail.com>
日本語部牧師: 安達 均
携帯: (949) 923-8535
website: california.lcrjm.com

「私たちの注意を引くため」

マタイによる福音書5章21節～37節

2017年2月12日 顕現節第6主日説教

By Rev. Brad Stienstra

本日の福音書に書かれているイエスの言葉を始めて聴いた時、それらの言葉は、少しどころか、もっとずれているように感じられる。こういった厳しい内容は、今はそぐわないのではないだろうか。特に今朝は、礼拝の後に味わうつもり、美味しいアイスクリームの事が脳裏にあるし、近々やって来るバレンタインデーに、自分の大切な人に何をプレゼントしようかと、私たちは思い巡らしたりしている。勿論、主は、私たちがただ激しく攻撃するような、このように厳しい言葉によって、私たちが早速反応するとは思われてはいないだろう。

しかし、そう理解してはいても、主は思いとどまろうとはされない。それどころか、私たちが喜んで受け取るホールマークのカードに描かれている花やハートに合った害の無いやさしい言葉ではなく、主は私たちと同じような人間が、投獄されて酷い処罰に苦しんだり、さらに悲惨なのは、社会の法則である神の掟に背いた為に地獄の火の中に投げ込まれるような、不幸な現実を指摘する、衝撃的な言葉によって、私たちと向き合い語られている。今朝の福音書の拝読にあったのは、山上の説教の一部であるが、主イエスは、食欲がなくなるような寒気がする言葉を私たちに浴びせて、必要以上に私たちの注意を引こうとしているようだ。自分の犯した罪がそれ以上悪い結果をもたらす前に、私たちの目をめぐり出して捨ててしまえとか、大切な体の一部を切り取れとか、私たちの気分が悪くなるような、奇々怪々な事を提案されている。いったいどうなっているのだろうか？ 主は、私たちが礼拝後にあるパーティーの気分になろうとしている事にお気づきではないのか？ なぜ主は、私たちが兄弟姉妹に対して悪い振る舞いをした為に不愉快な結果となった事を、をこんなに厳しい言い方をされて、せっかくのパーティー気分なのに興ざめさせるのか？

最初はそう思えなかったのだが、私が確信するに、イエスは私たちにとって肯定的な何かをこれらの言葉に含んでいるという事実だ。主は、キューピットやDr. Roth を超越して、私たちの愛のある人生をより豊かにしようとされている。であるから、これらの主の言葉(本日の福音書の箇所)からは、ロマンティックな言葉は微塵もないことが私が最初から重々認めるのだが、これらの言葉を良く読み、把握してみると、これらの言葉は、私たちが、自分と関わる人々を大切にし敬うことによって得ることのできる永遠の恩寵を示しているように思える。最初は、必ず守ることを強いられている厳しい十戒の掟のように聞こえるが、実際は、私たちが神から愛された子供たちとして、妥協することなく、お互いに敬い愛し合うことができるように勇気付けてくれる、私たちにとって必要な言葉なのである。

この週末が終わるとバレンタインデーを迎える、今自分たちがどのような社会に住みたいか、私たちがただ単に自分が面倒に巻き込まれたくないから良い子でいるのではなく、本当にお互いに大切にし合えるにはどうすればよいか、真剣に考えるようにと主は強く言われている。私は、彼がここで神の律法について語っているのは、最初に作られた法則にさらに付け加えて、それに従うことに、私たちがどれ程無力であることを示しているのではなく、私たちがスコアカードを使って自分を正当化しようとするのを止めさせるためだと思う。私の言おうとしている事は:「誰も刃物で刺さなかったか? チェック!、浮気をしなかったか? チェック!、偽証しなかったか? チェック!」とチェックしながら自分は悪いことをしなかったと正当化させる事だ。主イエスは、私たちからこれ以上の事を求めているだけではなく、私たちの為にこれ以上の事を求めているのだ。主が望んでいることは、神が私たちを見るように、私たちもお互いを見れるようになり、互いにそのように接し合えるようになることなのである。

良い社会を築くために、私たちはお互いに責任があることを理解している。主イエスは、私たちの選択は、私たち自身に強い影響を及ぼすだけではなく、自分の周りにいる人々にも影響を与えることになると言われる。

それだから、単に殺人を犯さないということだけで充分とはいえないのだ。あなた方は、怒ることさえ制止する必要がある、なぜなら舌で相手を殺すことも、つぶしてしまう事もできるからだ。裁いたり、侮辱することがやりたい放題になると世の中は脅かされる。結婚生活が崩れたり、女性が性的欲望を満たす対象だけに見られると、人生は脅かされる。あなたが自分が決めた誓いに背いたり偽ったりすれば、人生は脅かされる。これらの事柄は全て、私たちが信頼する繋がりを破壊し、神が呼び集められた民の統一が脅かされることになるのだ。

しかし、神の私たちへのメッセージは、唯単に私たちに沢山ある複雑な規則に従うようにと言っているのではない。神は、私たちへの期待を更に増すことによって、私たちが服従させようとしているのではない。神は、私たちが自ら良い行いを積んで神の恵みの元に戻るまで、私たちが彼の視界から追放し、私たちと対話をしないようにする事を望んでいるわけではない。神がこれらの戒めを強調するのは、わたしたちが戒めを無視しようとするときに生じる危険から私たちを守るためである。

神が私たちのためにこのようにされるのは、私たちが、まるで両親が留守の間に、庭の枯葉の掃除をするようにといわれた、独立心の強い男の子に似ているからである。彼は何度も両親から、台所のマッチは、大人の監督無しでは使用しないようにと注意されていたにも関わらず、彼は両親の帰宅前に、集めた枯葉の山を燃やすことにする。最初はよかったが、そのうち風がふいてきて、とたんに枯葉の焚き火から直ぐ横にある妹の砂箱に火が散ってしまった。彼は慌てふためいて必死に火を消そうとするが、その時、彼の両親の車が戻ってくるのが見え、急いで走って見つからないようにと、願いに願いながら、家の陰に隠れる。しかし彼の父親の怒鳴る声で、彼が一番恐れていた事態に気づく、「息子よ、自分の部屋に行きなさい。」

彼は、しばらく部屋で静かにしながら、彼の父親が彼の犯罪をどのように処置するだろうかと思い巡らしていた。